株式会社エンプラス

２００６年３月期
PRESENTATION
中間決算説明会

２００５年１０月２５日

代表取締役社長　杉 本　敏 昭

－ Ｒｅｓｕｍｅ －

- 2006年3月期　中間決算概要（連結）
- 2006年3月期　通期修正計画（連結）
- 各事業セグメント毎のビジネス動向及び計画

２００６年３月期
中間決算概要（連結）

２００６年3月期　経営基本方針

- 基幹事業の高付加価値・高収益構造への改革促進
- 知財力・専業力の強化と融合で独創製品・独創事業の創出
- グローバル事業戦略の再構築
- あらゆる業務の仕事力倍増への挑戦

経営基本目標（連結）

売上高	４００億円
経常利益	４５億円

4

上期に実施した主な施策

基幹事業の改革促進

強固な経営基盤

選択的投資（投資の重点化）

- エンプラ事業の改革
  - 鹿沼工場稼動
- プラスチックオプティクス事業の拡充・強化
  - 広州駐在員事務所設置
  - Enplas(Vietnam)Co.,Ltd.設立
- 子会社２社の清算
  - 株式会社エンプラスオプティクス
  - Enplas(Korea),Inc. → E(J) ソウル連絡事務所

6

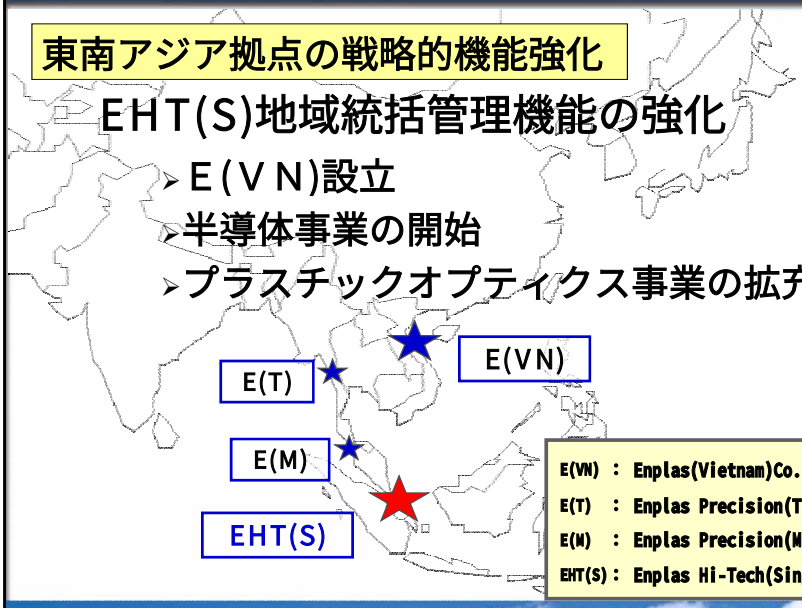
グローバル事業戦略の再構築

Enplas

東南アジア拠点の戦略的機能強化

EHT(S)地域統括管理機能の強化

- E(VN)設立
- 半導体事業の開始
- プラスチックオプティクス事業の拡充



E(VN) ： Enplas(Vietnam)Co.,Ltd.
E(T) ： Enplas Precision(Thailand)Co.,Ltd.
E(M) ： Enplas Precision(Malaysia)Sdn.Bhd.
EHT(S)： Enplas Hi-Tech(Singapore)Pte.Ltd.

7

Enplas(Vietnam)Co.,Ltd.

Enplas

ベトナム社会主義共和国
Socialist Republic of Viet Nam

所在地	Thang Long Industrial Park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam
設　立	2005年8月
資本金	US$ 2,000千
株　主	Enplas Hi-Tech(Singapore)Pte.Ltd. 100%
延床面積	約4,800㎡
事業内容	電子機器部品等の製造･レンズモジュール組立

2006年1月
事 業 開 始

8

中間決算実績

中間決算実績

（単位： 億円）

	第1四半期 実績	第2四半期 実績	当中間期 実績	中間期 当初計画
売　　上 （原価率）	99.0 （70.3%）	104.6 （70.3%）	203.6 （70.3%）	180.0 （70.5%）
営業利益	9.1	11.3	20.4	12.0
経常利益	10.0	11.2	21.2	13.0
当期純利益	5.7	1.9	7.6	7.0
1株当り当期純利益	27.53円	9.45円	36.98円	38.57円

10

セグメント別売上実績

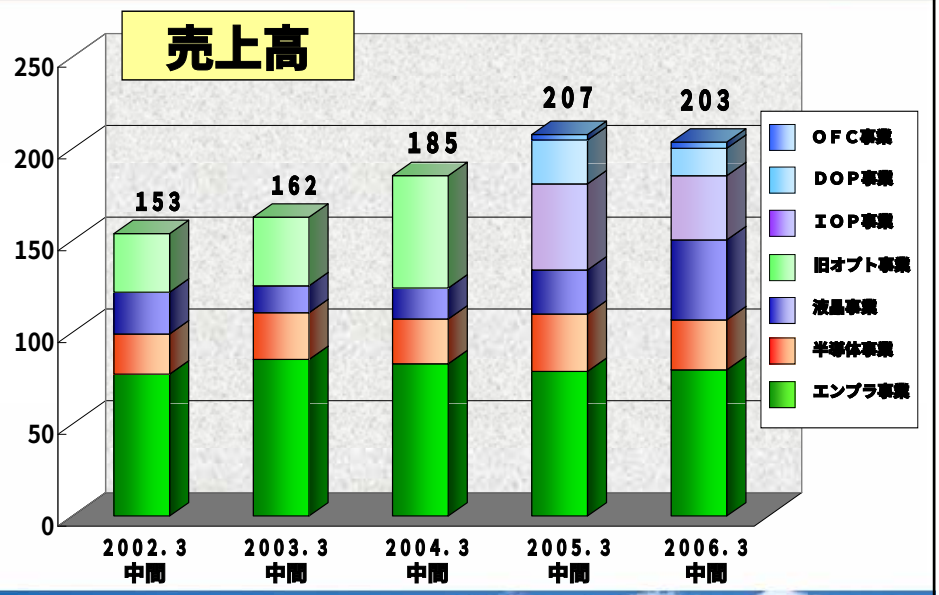
（単位： 億円）

	第1四半期実績	第2四半期実績	当中間期実績	中間期当初計画
エンプラ事業	39.6	39.9	79.6	73.0
半導体機器事業	13.0	14.1	27.2	27.0
液晶事業	18.7	24.8	43.5	28.0
ＩＯＰ事業	17.8	17.1	34.9	30.0
ＤＯＰ事業	8.0	6.9	14.9	18.0
ＯＦＣ事業	1.6	1.6	3.3	4.0
計	99.0	104.6	203.6	180.0

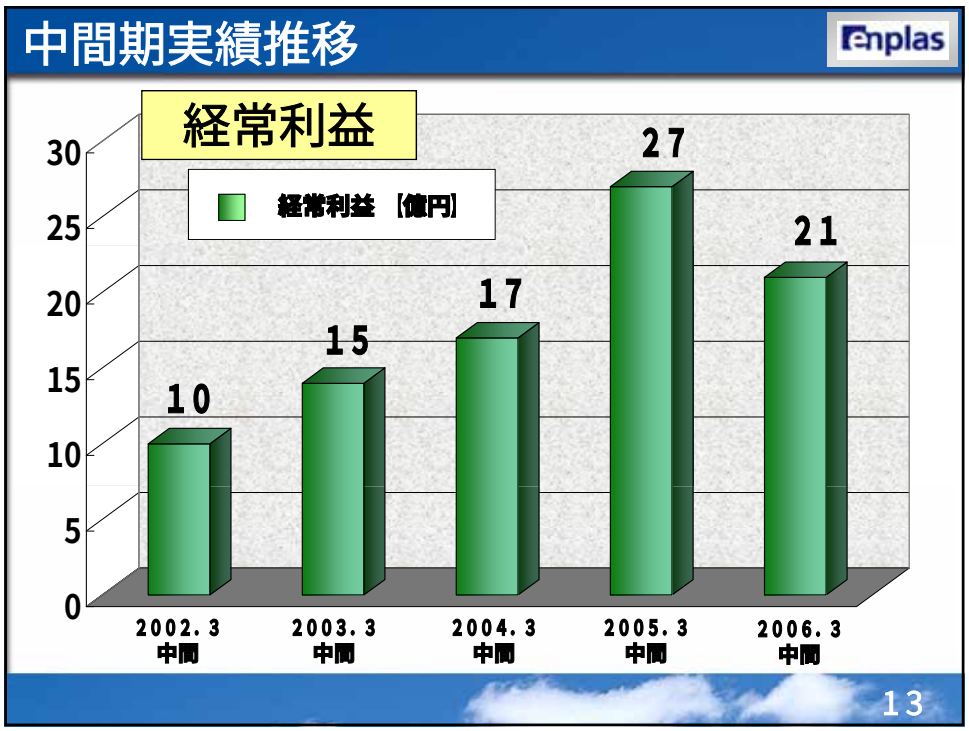
11

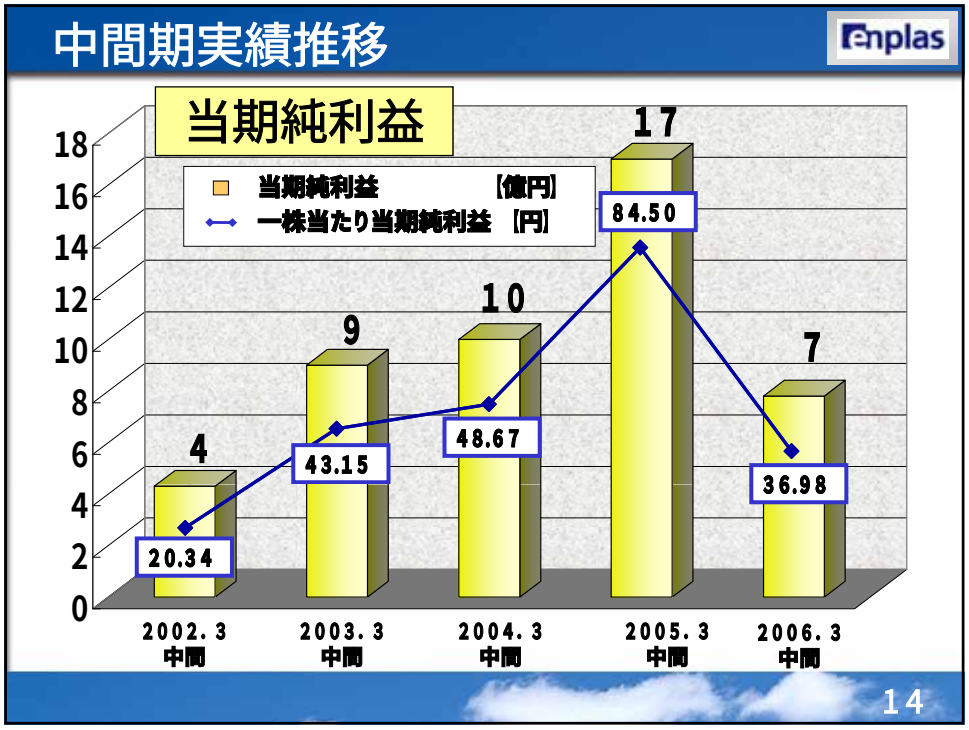
中間期実績推移

（単位： 億円）



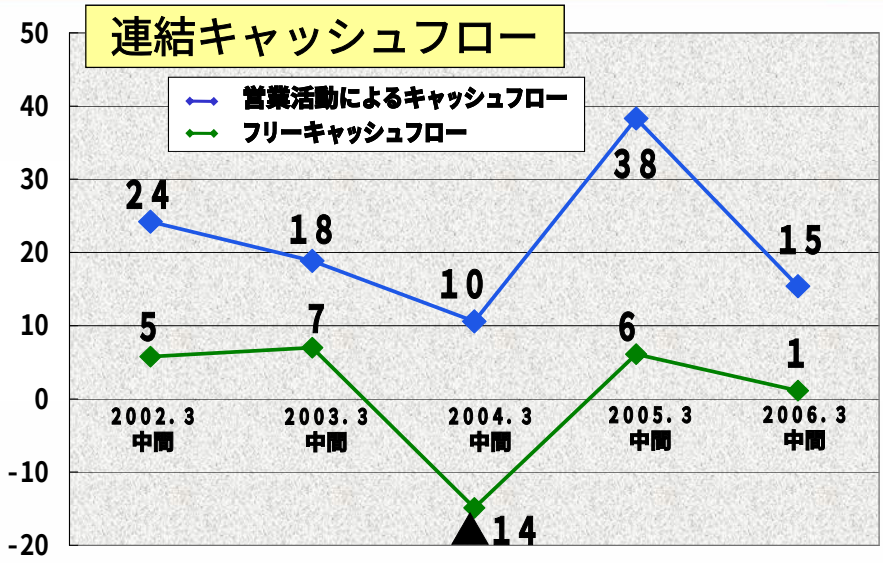
12


中間期実績推移
enplas
経常利益
経常利益 【億円】
30
25
20
15
10
5
0
10
15
17
27
21
2002.3 中間
2003.3 中間
2004.3 中間
2005.3 中間
2006.3 中間
13


中間期実績推移
enplas
当期純利益
当期純利益 【億円】
一株当たり当期純利益 【円】
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
4
9
10
17
7
20.34
43.15
48.67
84.50
36.98
2002.3 中間
2003.3 中間
2004.3 中間
2005.3 中間
2006.3 中間
14

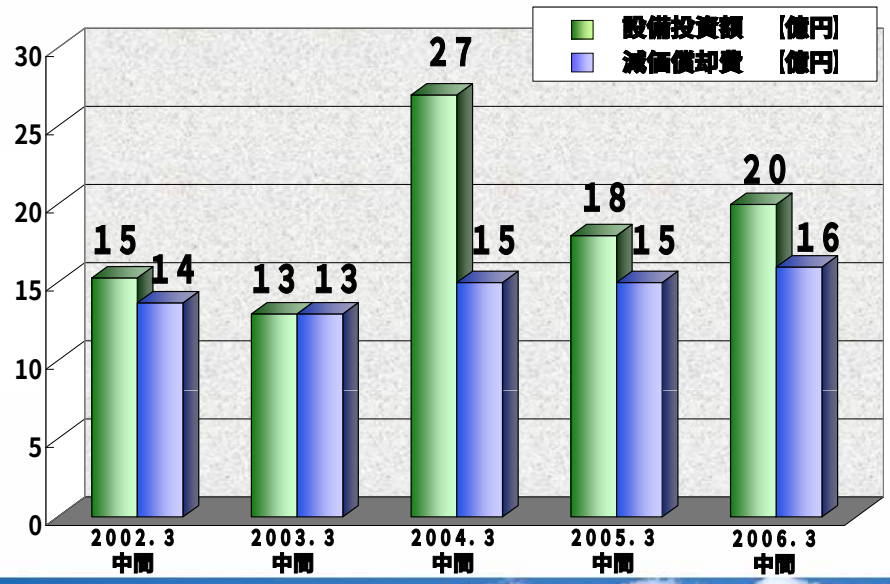
中間期実績推移

（単位： 億円）



15

設備投資額と減価償却費



16

- 上 期 決 算 総 括 -

- 液晶事業の売上　過去最高記録更新
- DOP事業の市場価格急落による売上低減
- 国内外グループ会社の好調による経常利益連単倍率の急速な拡大

  2.6 対 1　（前期 1.6対1 ）
- エンプラスオプティクス・E（K）の清算

２００６年３月期
通期修正計画（連結）

2006年3月期通期修正計画 （単位： 億円）

Enplas

	当中間期実績	通期修正計画	通期当初計画
売　上	203.6	390.0	400.0
（原価率）	（70.3%）	（68.2%）	（68.4%）
営業利益	20.4	43.0	43.0
経常利益	21.2	45.0	45.0
当期純利益	7.6	24.0	26.0
1株当り当期純利益	36.98円	115.91円	125.36円
1株当り配当	12.00円	24.00円	24.00円

19

セグメント別売上修正計画 （単位： 億円）

Enplas

	当中間期実績	通期修正計画	通期当初計画
エンプラ事業	79.6	150.0	156.0
半導体機器事業	27.2	55.0	56.0
液晶事業	43.5	83.0	58.0
IOP事業	34.9	68.0	80.0
DOP事業	14.9	27.0	40.0
OFC事業	3.3	7.0	10.0
計	203.6	390.0	400.0

20

参考指標

（単位： 億円）

	当中間期 実績	通期 修正計画	通期 当初計画
設備投資額	20.7	40.0	60.0
減価償却費	16.5	35.0	33.0
試験研究費	10.4	20.0	22.0
（売上高比）	(5.2%)	(5.1%)	(5.5%)

21

各事業セグメント毎のビジネス動向及び計画

エンプラ事業の動向

前中間期 実績	当中間期 実績	下期 修正計画	通期 修正計画
78	79	70	150

（億円）

当中間期ハイライト

下期の戦略

➢鹿沼工場稼動

- ➢不採算製品からの撤退促進
- ➢金型製造システムの改革
- ➢オリジナルギヤの開発推進

- ➢高付加価値事業体制の確立
- ➢新規開発品(オリジナルギヤ)によるギヤソリューションビジネスの展開
- ➢ギヤマーケットの領域拡大

23

鹿沼工場の概要

建設場所	栃木県鹿沼市さつき町7番2
竣　　工	平成17年7月
敷地面積	約33,000㎡
製造品目	自動車・電機・OA向けプラスチックギ
総投資額	約32億円
就業人数	約100名

24

鹿 沼 工 場

Enplas

事業構造変革は
攻めの段階へ

全てにおいて世界最先端の樹脂ギヤ工場を目指す

25

自動車市場の展望

Enplas

自動走行システム

センサー制御ブレーキ

可変配光システム

ナイトビジョン

液晶コントロールパネル

低燃費
低公害
安　全
快　適

→

省　電　力
高精度制御化
軽　量　化

→

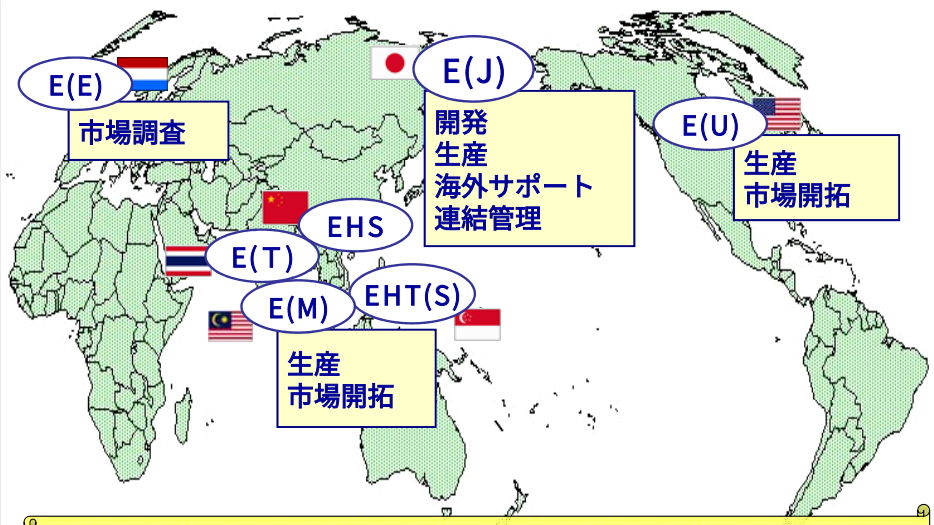
油圧の電動化
電動ｱｸﾁｭｴｰﾀｰ増大
ﾓｰﾀｰ数削減(省電力)

→

プラスチック
ギヤ市場の
拡大

26

ギヤビジネスのグローバル展開



情報の一元化による4極相互補完開発支援体制の充実

27

半導体機器事業の動向

前中間期 実績	当中間期 実績	下期 修正計画	通期 修正計画
31	27	27	55

（億円）

当中間期ハイライト

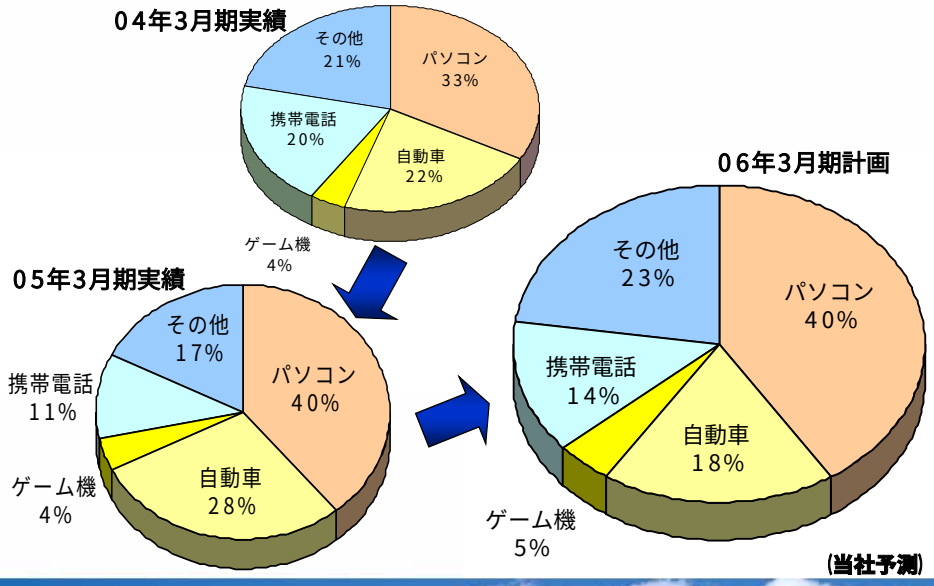
- 東南アジア・台湾の販売体制再構築
- Enplas(Korea),Inc.の解散
- 微細ピッチ技術の確立
  - ◆メカニカル機構で0.3mmピッチ対応

下期の戦略

- 顧客ニーズを先取りする最先端要素技術の応用
  - ◆高周波IC　→　放熱設計
  - ◆高電力化
  - ◆狭ピッチ化
- プローブカードビジネスにおける地域を特化した顧客開拓促進

28

ＩＣソケット用途別売上構成



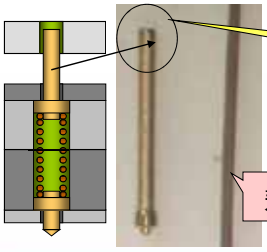
開 発 製 品

業界初の0.3mmピッチ用
バーンインソケットの開発に成功

Patent Pending

ソケット

0.3mmピッチ
ユニット



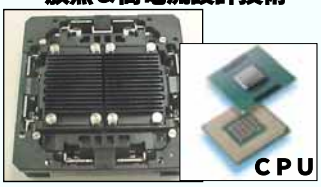
接触子先端構造に独自な技術

髪の毛

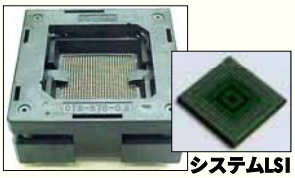
市場競争力のある新規開発ソケットの拡販

enplas

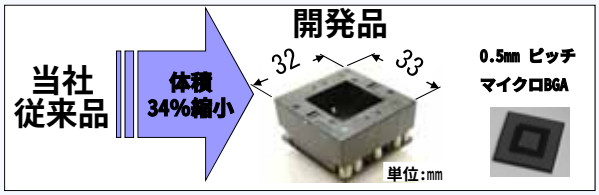
ハイパフォーマンスに対応
- 放熱＆高電流設計技術 -



システムＬＳＩに対応
- 多ピンソケット -

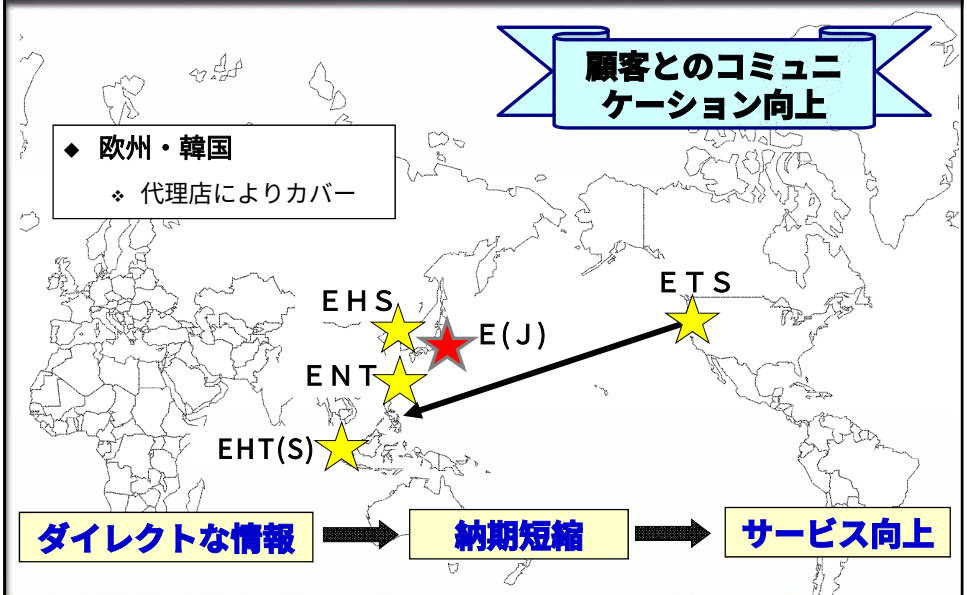


小型小容積化
- 高密度化によりテスト効率向上に寄与 -



グローバル販売体制再構築

enplas



液晶事業の動向

前中間期実績	当中間期実績	下期修正計画	通期修正計画
23	43	39	83

（億円）

当中間期ハイライト

➢ノートPC用導光板のシェア拡大

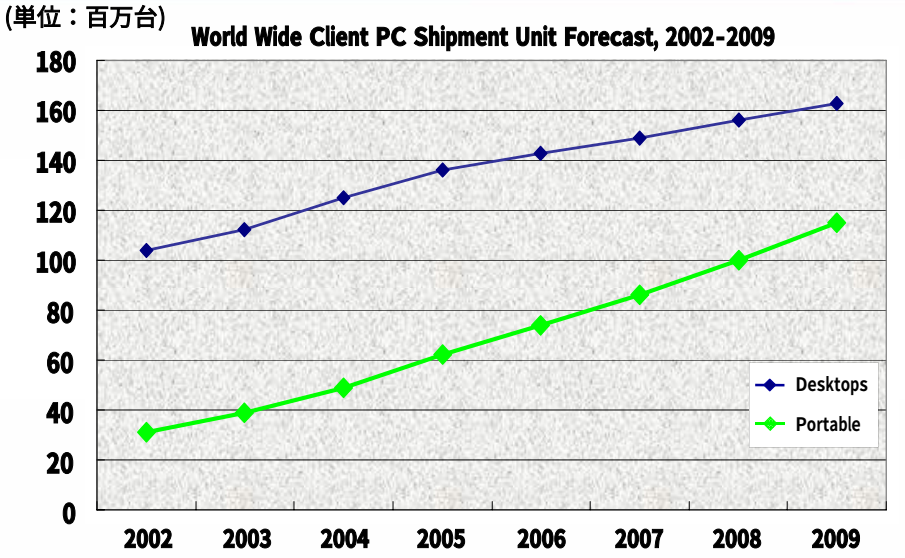
➢需要急伸、売上過去最高記録を更新
- ◆既存顧客のボリューム拡大
- ◆生産能力向上による収益力の拡大
- ◆有効な特許群の存在

下期の戦略

➢高品位・高機能ニーズに集中した小型（携帯・デジカメ）導光板市場の開拓強化

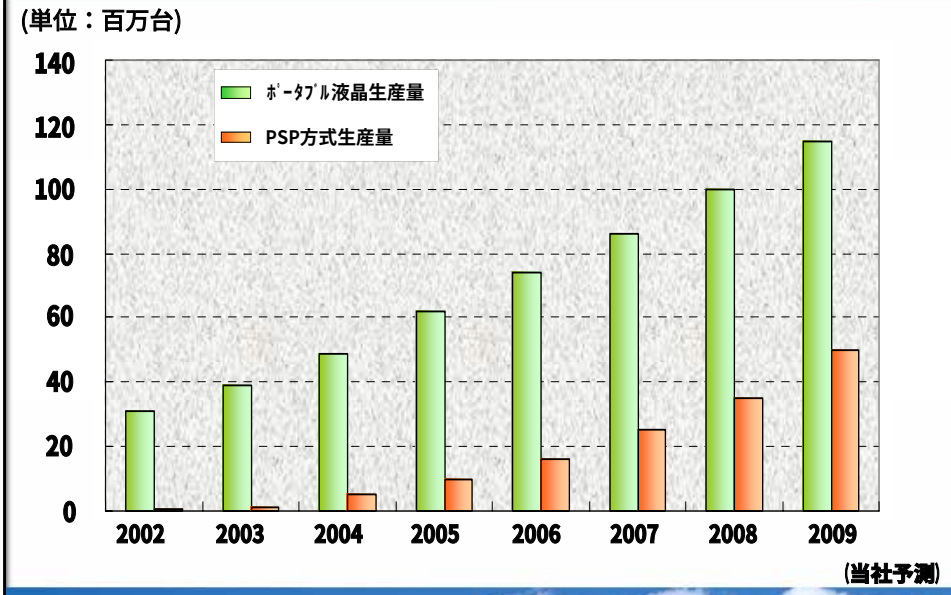
➢次世代LGPの研究促進

ポータブル液晶市場の拡大



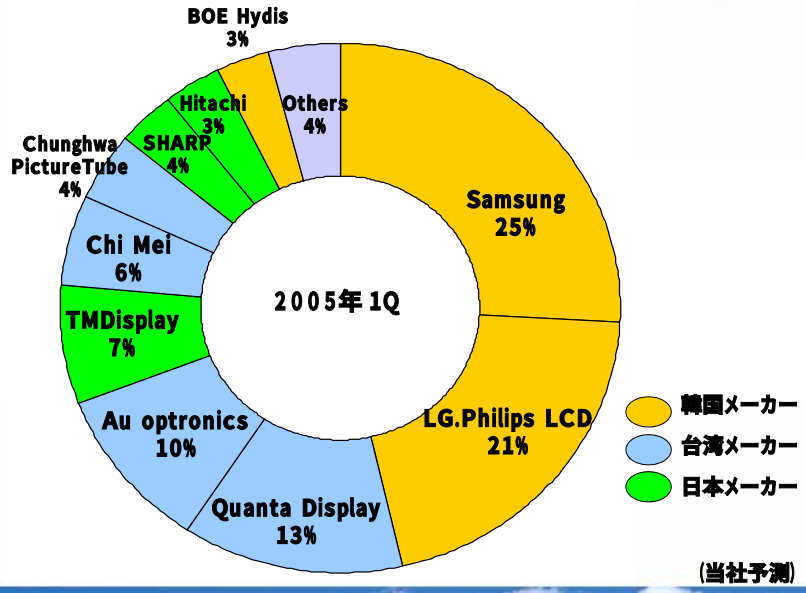
(Source: IDC World Wide Quarterly PC Tracker, Q2 2005)

ポータブル液晶市場と当社の販売戦略



35

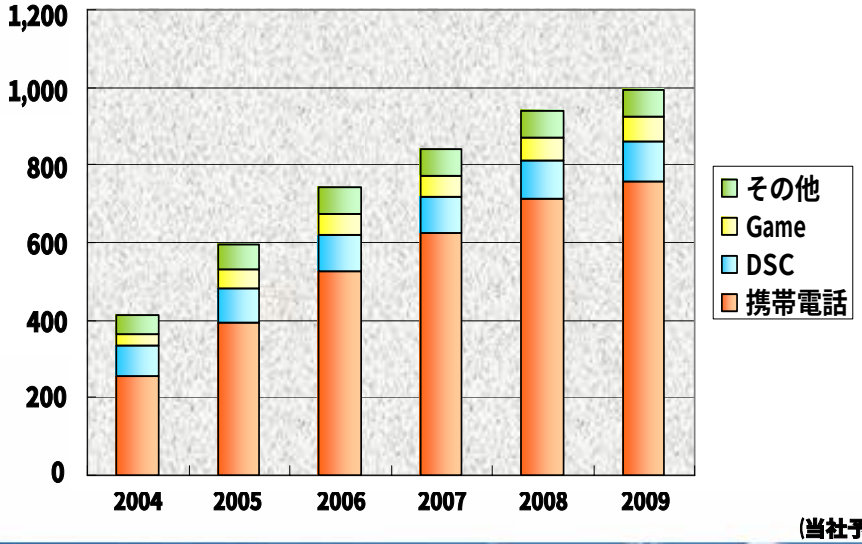
ノートPC用LCDパネル出荷シェア



36

中小型ＴＦＴ-ＬＣＤ市場予測

(単位：百万台)



(当社予測)

37

イメージングオプティクス事業の動向

前中間期 実績	当中間期 実績	下期 修正計画	通期 修正計画
46	34	33	68

(億円)

当中間期ハイライト

- 子会社エンプラスオプティクスの清算
- メガピクセルレンズの量産スタート

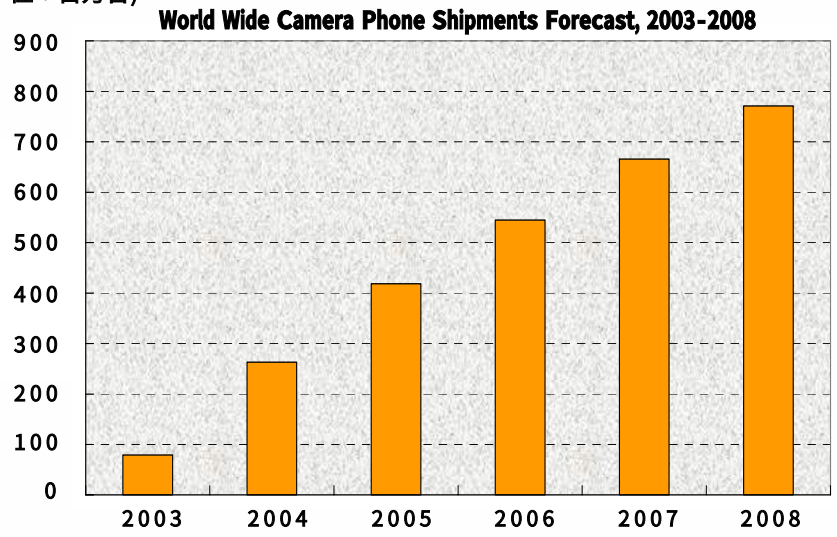
下期の戦略

- オールプラスチックによる小型・薄型化・高解像化の徹底追求
- メガピクセルレンズマーケット拡大への対応
- 各種センサー機能に対応したレンズの標準化
- 変化を先取り可能な営業開発体制の確立

38

カメラ付携帯電話市場予測

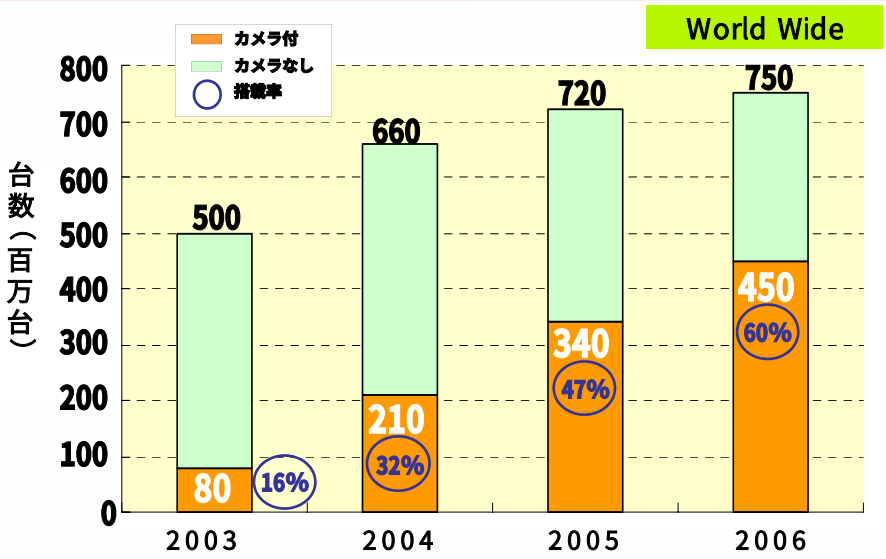
(単位：百万台)



(Source : IDC, 12/2004, World Wide Mobile Phone 2004-2008 Forecast Update and 1H04 Vendor Shares, #32336)

39

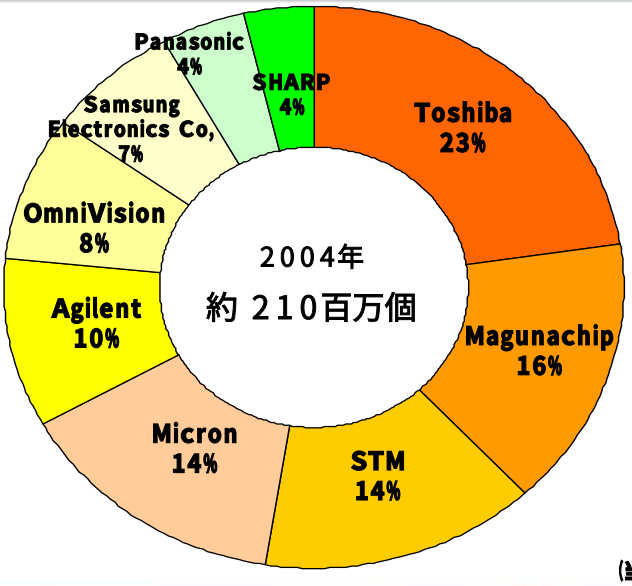
携帯電話市場予測



(当社予測)

40

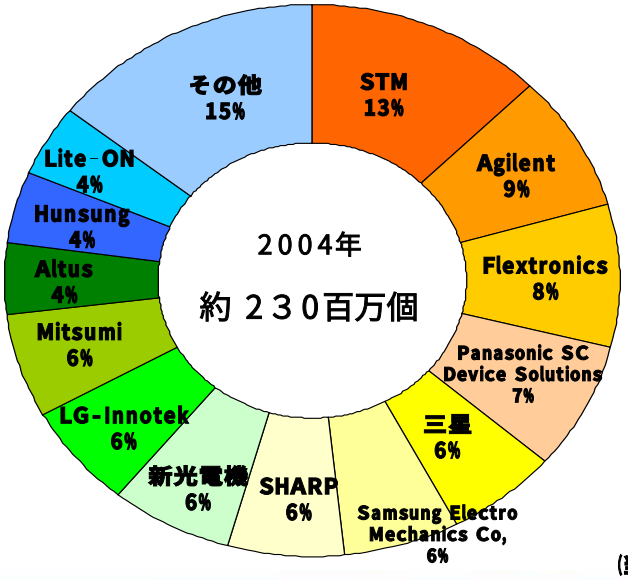
センサーメーカーの市場占有率



(当社予測)

41

レンズモジュールメーカーの市場占有率



(当社予測)

42

デジタルオプティクス事業の動向

前中間期実績	当中間期実績	下期修正計画	通期修正計画
23	14	12	27

（億円）

当中間期ハイライト

➢市場価格の急落による売上低減

➢新製品の開発
- ◆二波長対応回折格子
- ◆スーパーマルチ対応回折格子

➢生産体制革新による低コスト化推進

下期の戦略

➢事業体制の再構築

➢高付加価値開発製品の積極的提案

➢次世代光ディスクピックアップ用オプティクスの戦略的開発推進

43

開 発 製 品

BLUE-RAY用ピックアップ

二波長対応の回折格子

DVD記録用ピックアップに搭載される二波長レーザー用回折格子で、１つで両方（CD/DVD）の機能

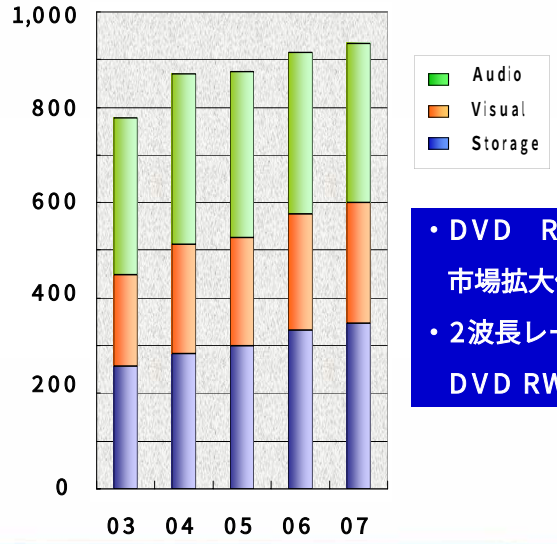
スーパーマルチ対応の回折格子

３種類のDVD（DVD+R/RW・DVD-R/RW・DVD-RAM）対応

44

光ピックアップ市場の動向

(単位：百万台)



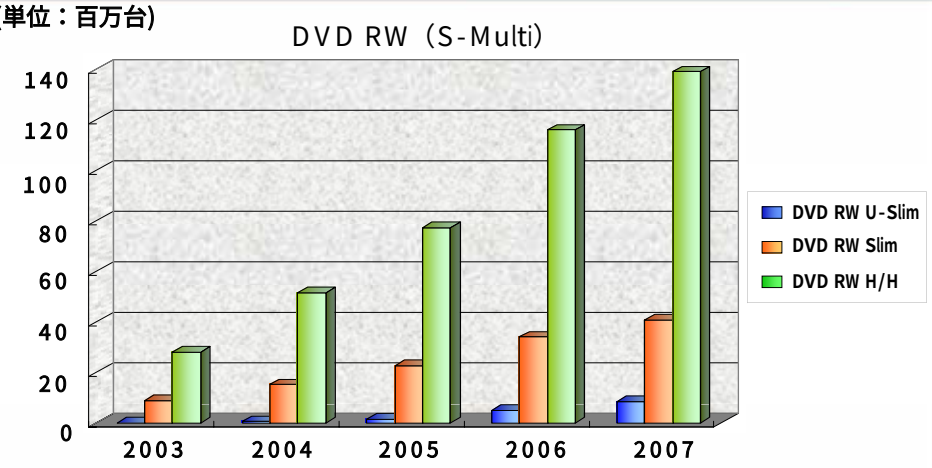
・DVD　RW（S-Multi)の
　市場拡大促進、2層高速記録
・2波長レーザー搭載
　DVD RW（S-Multi)比率が高まる

(当社予測)

45

DVD RW市場の動向

(単位：百万台)



2波長レーザー搭載機種比率　2006年15%、2007年30%

(当社予測)

46

ＯＦＣ事業の動向

前中間期実績	当中間期実績	下期修正計画	通期修正計画
3	3	3	7

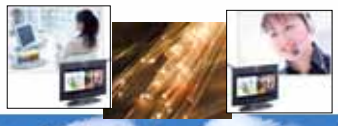
（億円）

当中間期ハイライト

- ➢アジレントの撤退
- ➢新規顧客の確保
- ➢LAN(Local Area Network)、SAN(Storage Area Network)の市場が好調（VCSELトランシーバは当面30%の市場成長）

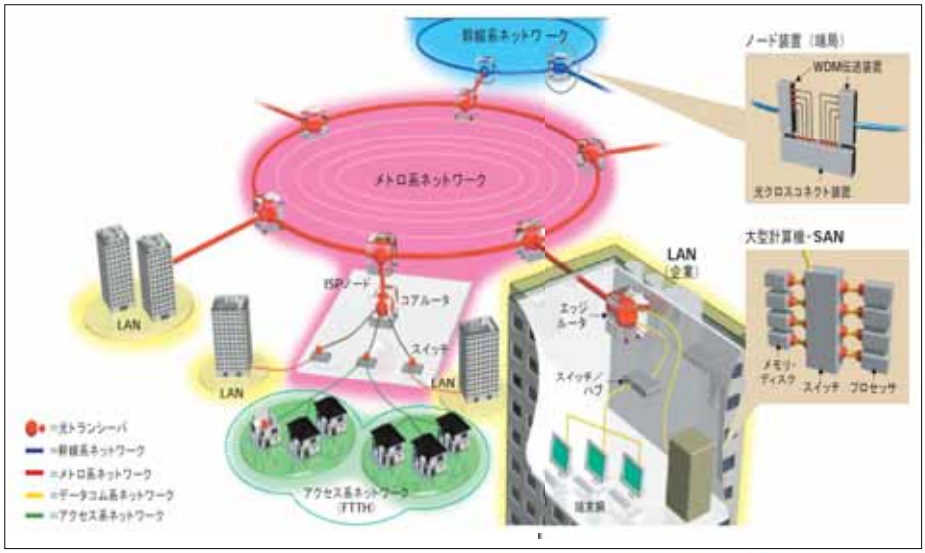
下期の戦略

- ➢新市場への応用を先取りした潜在顧客へのアプローチ
- ➢新規 光インターフェースモジュール市場の開拓
- ➢特許と独自技術ノウハウ蓄積による技術優位性の確立



47

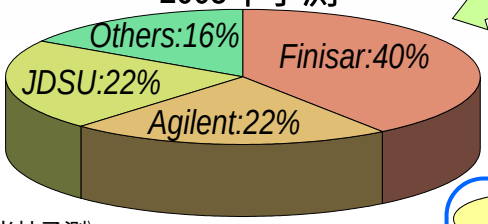
光通信ネットワーク



48

市場状況とエンプラスのポジション

世界VCSEL光トランシーバ
生産シェア
2005年予測



(当社予測)

ENPLAS

新規参入した国内企業

EPSON　Fuji Xerox

SONY　松下電器

VCSEL光トランシーバー
メーカーの拡大

49

OFC新規市場へのアプローチ

光インターフェースモジュール市場

製品化の切り口は、「一体化」　"Integration"

- *Coupling*（結合）

  樹脂レンズ一体バレル　車載

- *Branching*（合分波）

  光インターコネクション
  WDM分波、並列通信

- *Attenuation/ Reflection/ Transmission*（減衰/反射/透過）

50

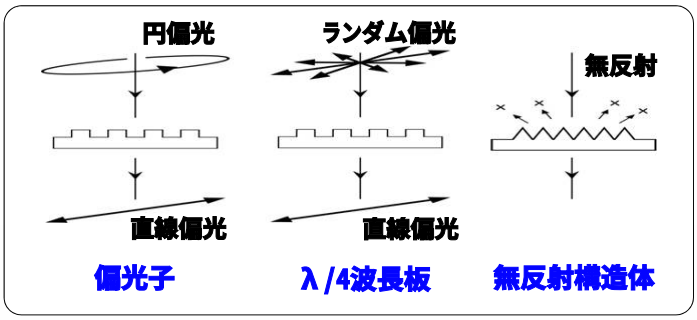
新事業・新分野の開拓

Enplas

－ ＳＯＥ応用オプティクスの開発 －

Subwavelength Optical Elements

従来の回折格子にはない機能を付与させることが可能



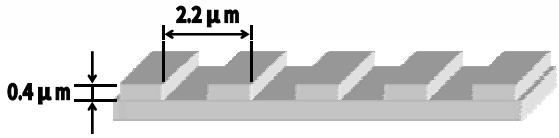
ナノオーダー（数１００nm以下）の微細加工が要求される

新事業・新分野の開拓

Enplas

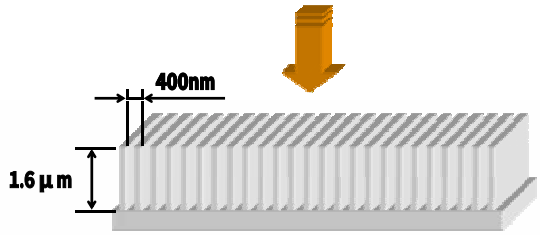
－ 従来品との比較 －

サブ波長（= ナノ）オーダーとは？



従来の回折格子

例）回折格子
ﾋﾟｯﾁ/深さ：2.2μm/0.4μm
ｱｽﾍﾟｸﾄ比：0.36



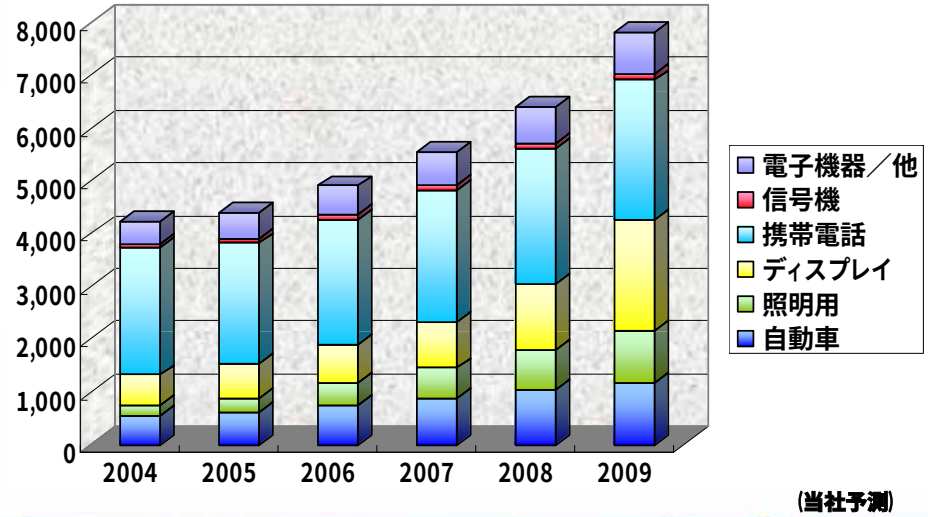
波長板

例）λ/4板
ﾋﾟｯﾁ/深さ：400nm/1.6μm
ｱｽﾍﾟｸﾄ比：8

新事業・新分野の開拓

(単位：千台)

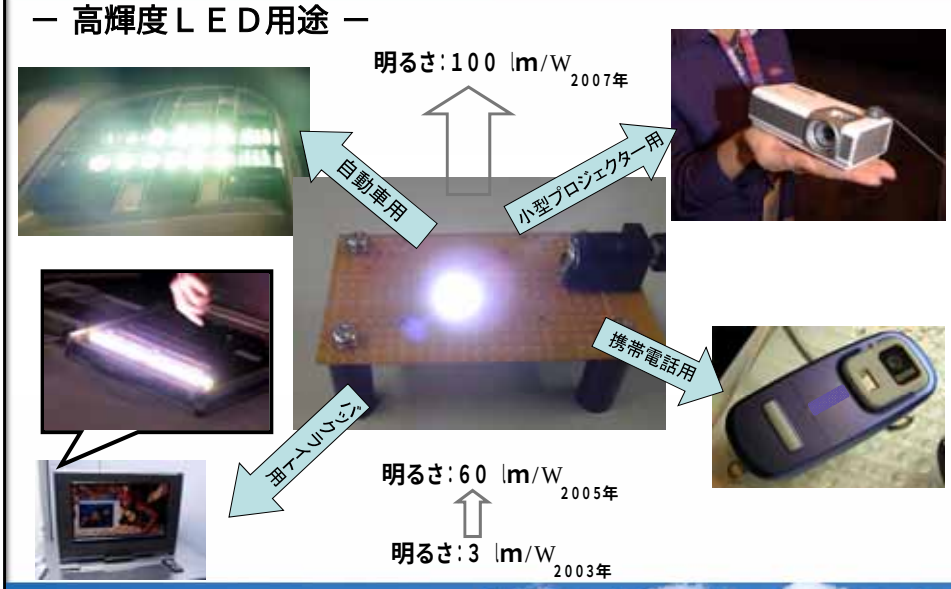
白色ＬＥＤビジネス市場

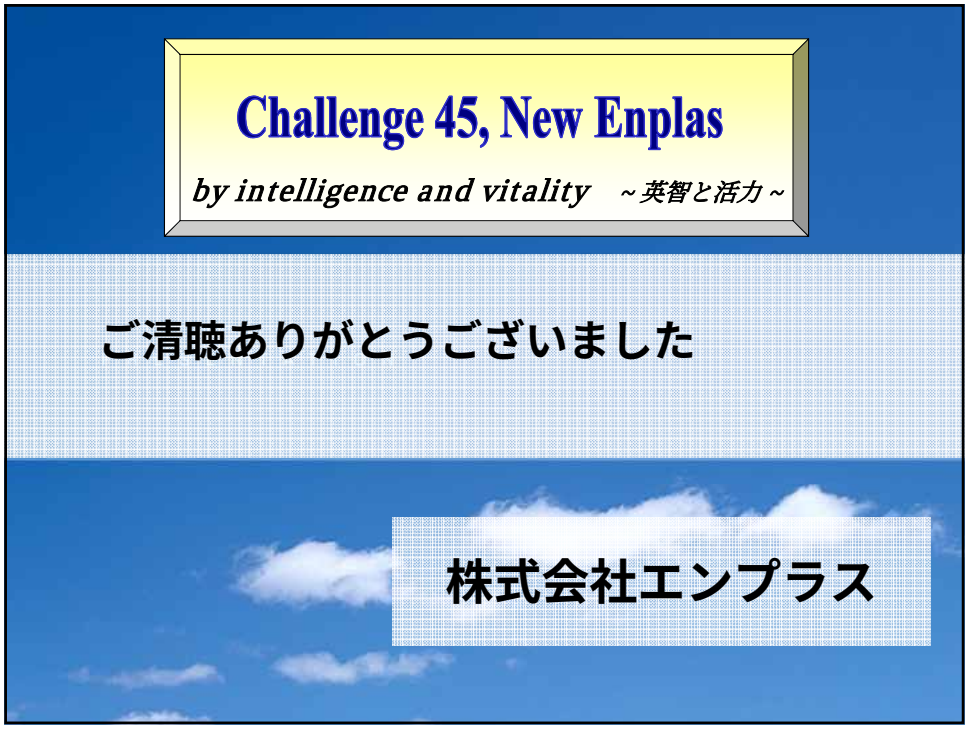


(当社予測)

新事業・新分野の開拓

－ 高輝度ＬＥＤ用途 －




Challenge 45, New Enplas
by intelligence and vitality ~英智と活力~
ご清聴ありがとうございました
株式会社エンプラス